

SMART ENERGY VOL.01

発行/2021年9月30日 発行者/未来環境エネルギー計画株式会社 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1

有事でも安定した事業継続をするために！ 中小企業のBCP（事業継続計画）について

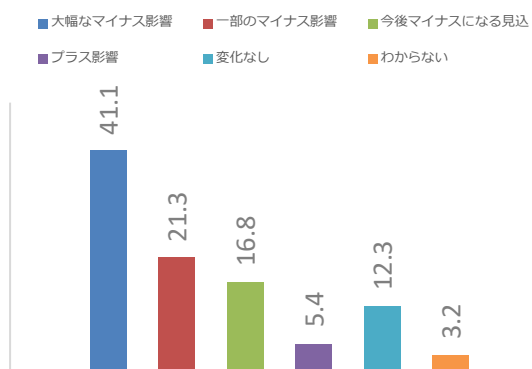
皆さま、こんにちは！10月には全国的に「緊急事態宣言」が解除され、新型コロナウイルスの影響が少し落ち着いてきた昨今、いかがお過ごしでしょうか。本紙編集時点では、新型コロナウイルス感染者が徳島でまだ10人以上出るなど、依然予断を許さない状況が続いております。さて今回は、中小企業における新型コロナウイルスの影響と、そこから見えてくる「BCP（事業継続計画）対策」の必要性と対策手法について、ご紹介します！

中小企業における新型コロナウイルスの影響

独立行政法人中小企業基盤整備機構は2020年4月時点での「中小・小規模企業」における新型コロナウイルスの影響を公表しています。

新型コロナウイルスの業績への影響と業績がマイナスになっている場合の主要因について記載しているのが左グラフです。

ご覧の通り、業績に「大幅なマイナス影響」が発生していると答えた企業は41.1%と最も多く、次いで「一部のマイナス影響」が発生していると答えた企業は21.3%となり、全体として新型コロナウイルスの影響で業績が下がったと答える企業は79.2%にも上りました。



前年同月比の業績影響と主なマイナス要因

主たる要因	割合 (%)
国内営業・販売に支障	25.7
国内外出・移動制限	17.0
国内物流・生産に支障	13.8
活動自粛	9.2
固定費負担増	7.3
その他	27.0

「大幅なマイナス影響」が出ていると回答した企業に、その主たる要因についてヒアリングした結果が左表です。「国内営業・販売に支障」が出ていると回答した企業が最も多いことが表からわかります。

新型コロナウイルスによって外出が制限されたために業績がマイナス基調にあると考えている企業が多いことが伺えます。

直近、ワクチン接種率増加により、コロナウイルス感染者が少なくなっておりますが、夏から秋にかけての異常気象による大雨・土砂災害など、企業経営の障害になりそうな出来事はまだまだ続いていきます。

☎088-660-6667

受付時間 8:30~18:00 (休業日:土・日曜日)

住所: 〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1
FAX: 088-660-6668
Email: support@mirai-ecoene.com 担当: 亀谷



未来環境エネルギー計画株式会社

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画 検索



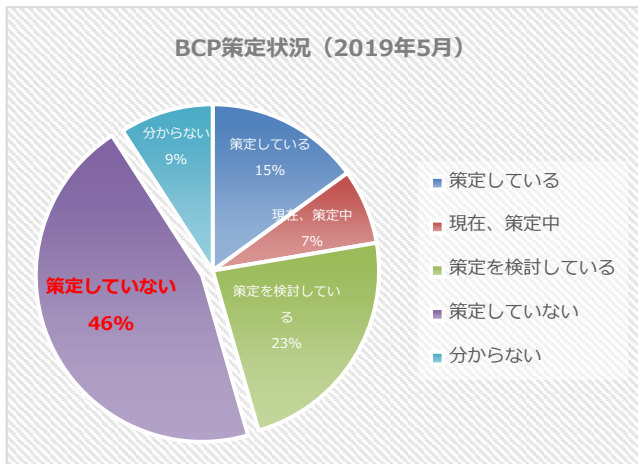
対策必須！BCP（事業継続計画）は経営の要

表面の指標でもあった通り、企業は常に外部環境の影響でいつ業務を継続できなくなるか、分からない状態にあります。中でも自然災害への対応は「災害大国」といわれる日本において喫緊の課題といえるでしょう。

そのような事態にあったとしても、重要な業務が継続できる施策を用意し、生き延びることができる計画をBCP（Business Continuity Plan）と言います。



BCPの策定状況と今後の展望



左記は企業にBCPの策定状況を示したものです（出典：帝国データバンク「事業継続計画（BCP）に対する企業の意識調査（2019年）」）。ご覧の通り、直近2019年5月時点では、「策定している」と回答した企業は15%、「現在、策定中」が7.3%、「策定を検討している」が23.2%と、少しずつですが意識が高まっている様に伺えます。

しかしながら、未だ**半数以上の企業様では「策定完了」しておらず**、災害対策時の対応方法を形式化できていないことが分かります。

また、右表は従業員別で見たBCPを「策定している」割合ですが、51～100人の企業を境に策定している割合が2割程度となっています。このように見てみると、大企業を中心に取り組みが進む一方、**中小企業においては、未だ対策が具体化されていないケースが多い**ようです。

災害発生時の電源確保は重要で、大規模停電は1週間程度復旧に時間が掛かると言われています。この対策には**蓄電池**が有効です。急な停電によって、パソコン上に保管されているデータが破損するといったことを蓄電池を導入することである程度猶予ができます。

従業員数	割合 (%)
5人以下	4.7
6～20人	6.8
21～50人	11.7
51～100人	20.3
101～300人	28.2
301～1,000人	43.3
1,000人超	52.6

蓄電池は、病院や介護施設などの絶対に電気を絶やしていけない施設でも効果を発揮します。東日本大震災発生時、多くの病院で電気の供給不足に陥り休診せざるを得ないといった事態になりました。

このような教訓から自家発電機を導入した病院もありますが、病院で導入されている多くの自家発電機は1基当たり4～6時間ほどしか持ちません（発電機の種類にもよります）。このようなことを踏まえると蓄電池は日本ではマストアイテムといえるかもしれません。

☎088-660-6667

受付時間 8:30～18:00（休業日：土・日曜日）

住所：〒771-0204 徳島県板野郡北島町鯛浜字川久保87番地1
FAX：088-660-6668
Email：support@mirai-ecoene.com 担当：亀谷



未来環境エネルギー計画株式会社

▼徳島で自家消費型太陽光なら未来環境エネルギー計画▼

未来環境エネルギー計画

検索

